

(2) タイピングの練習方法

タイピングの練習を始める前に、自身のタイピングの現状をしっかりと確認しましょう。もし「キーボードを見ないと入力できない」「正しい指づかいができていない」など、タッチタイピングがまだ習得できていない場合は、ポジション練習やかなのタイピング練習から始めます。それが習得できたら次の漢字変換を伴う練習に進む、というように、確実に一段ずつステップを上っていくことが大切です。

1) 漢字変換を伴わない入力練習

タイピングの基本を身につけるためには、練習ソフトの活用が効果的です。練習ソフトにはさまざまなものがありますが、以下に代表的なソフトの例をあげてみました。特徴を見ながら、自分に合ったものを選択して練習しましょう。

◆「美佳タイプ」 提供元：今村二郎氏

<http://www.asahi-net.or.jp/~BG8J-IMMR/>

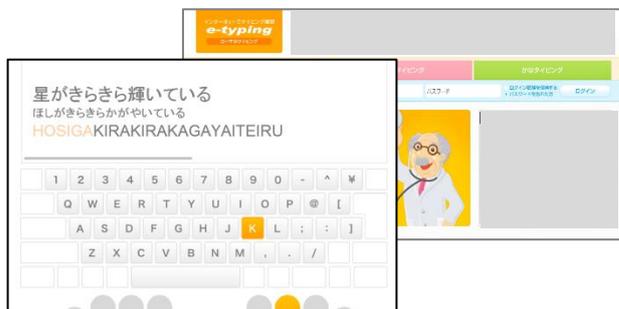


【特徴】

- ポジション練習と単語入力練習ができる。
- 1分間あたりの入力文字数(かな)やミスタッチ数等が表示される。
- 自己最高記録が残る。
- ダウンロードして使用する。

◆「e-タイピング」 提供元：イータイピング株式会社

<http://www.e-typing.ne.jp/>



【特徴】

- 「腕試しレベルチェック」とジャンルを選んでの入力練習ができる。
- 記録はウィンドウを閉じると消える。(会員登録すれば残る)
- 1分間あたりの入力文字数(打鍵数)と独自のレベル等が表示される。
- インターネットのブラウザ上で使用する。(オンラインソフト)

◆「EG タイピング」 提供元：アピスキャリアステーション株式会社

<http://eg-typing.com/>



【特徴】

- 「直接入力」でジャンルを選んで単語入力練習ができる。
- 記録は残らない。（成績登録すれば残る）
- 1分間あたりの入力文字数（打鍵数）とミスしたキー等が表示される。
- インターネットのブラウザ上で使用する。（オンラインソフト）